



藤枝どぼニュース

「老朽化した下水道管が生まれ変わっています」

下水道課では、ストックマネジメント計画※1に基づき、老朽化した下水道管を管きょ更生工法によって修繕・改築しています。



Q.管きょ更生工法とは？

A.既存下水道管を用いた非開削工法

管きょ更生工法は、既存の管きょ内に新しい管を作る工法です。以前は老朽管を撤去し、新しく設置をし直さなければならず、長い工期や多額の費用が必要でした。しかし、管きょ更生工法を用いれば既存管きょを撤去する必要なく、新設した管きょと同等以上の強度や耐防食性を持つ管きょに改築することができることから、工期短縮や費用を抑えることができる工法です。

写真の説明

- ① 更生したい管を事前調査します。
- ② 事前処理を行い、管きょを円形にします。
- ③ 更生材料を管きょ内に引込み、空気圧で膨らませ光硬化技術を用いて、材料である樹脂を硬化させます。
- ④ 更生完了



※1ストックマネジメント計画：既設の下水道管の健全度を調査し、危険と判断される箇所を修繕していく計画